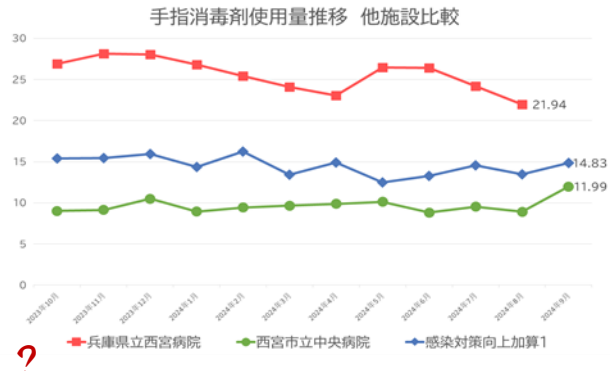
Infection Control Team
ICT NEWS
西宮市立中央病院
感染対策室
2024.10
No.4

■　手指消毒剤使用量の推移

皆さん、こんにちは。
手指衛生剤使用量の推移をご覧ください。9月、めっちゃあがってるやん！と思ったあなた。
7月と8月が少ないだけです。手指衛生剤使用量の低迷に相関して、8月はMRSAとESBLの院内発生を非常に多く確認しました。それらフィードバックを受け、皆さんの意識が高まった結果、
9月の使用量が増加したと思われます。



やばい数字見ないとできないのかい？

手荒れの季節がやってきます。
荒れてしまうと治りにくいのが医療従事者の手荒れの特徴です。冷たくない程度の温度の水で手洗いや家事をしてください。ハンドケア用品をしっかり使いましょう。　　小坂

■　「タイパ」が高いアルコール手指衛生！

★Z世代 の価値観の一つ、「タイパ」

“Time Performance”（略して、タイパ）とは、知りたい情報を手っ取り早くSNSで検索したり、YouTubeを倍速や3倍速で視聴し情報を得るなど、かけた時間に対する効果を最大限に得ようとするZ世代の行動、すなわち価値観の一つと言われています。

★「タイパ」重視ならアルコール手指衛生がBest！

1970-80年代は世界的に流水と石鹸による「手洗い」が手指衛生の主流でした。しかし、医療現場における手指衛生（手洗い）の障壁として、手指衛生を要する機会・場面が多いが、その度に手洗い場へアクセスする不便さや、手洗いのプロセス全体で1分/回以上要することなどが懸念されていました。2000年に有名科学誌に「アルコール手指消毒剤」を用いた研究成果（下記の文献。院内感染減少、特にMRSA菌血症が減少という結果）が紹介され、その後の時代は「アルコール手指消毒」による手指衛生が当たり前の時代に変化してきた経緯があります。普及してきた一番のミソは「タイパ」が高いこと!! 手洗いに比べ、20-30秒（WHOの推奨時間）をかけるだけで極めて高い手指衛生の効果があるからです。

Pittet D, *et al*: Lancet 2000; 356(9238): 1307-12.

★「タイパ」が高いコンテンツ紹介

多忙な医療従事者に勧めたいタイパが高い医療コンテンツとして、日本環境感染学会の手指衛生教育用資料を紹介します。WHO手指衛生多角的戦略（2009年公開）の紹介や各施設での当該戦略の導入ツール（施設管理者へ手指衛生の指示を求める手紙のフォーマットも掲載!!）の他、手指衛生教育用スライドや手指衛生動画（残念ながら倍速で見ることはできませんが。）もあります。みなさまも一度ご覧頂き、それが各職員の手指衛生に関する知識の底上げやモチベーション向上に繋がっていったらいいなぁと思います。　　藤田

日本環境感染学会
手指衛生教育動画

次回は1月に発行予定です